

平成24年度 第3回 鶴岡地域審議会

次 第

日 時 平成24年10月25日（木）
午後1時30分～

場 所 鶴岡市役所
5階 502会議室
6階 大会議室

1 開 会 （分科会毎） ※会場 地域コミュニティ分科会：6階大会議室
産業経済分科会：5階502会議室

2 協 議
（1）各分科会の協議テーマについて
（2）その他

3 全 体 会 ※会場 6階大会議室
（1）分科会毎での協議内容報告
（2）その他

4 閉 会

鶴岡地域審議会委員名簿

平成24年7月1日～平成26年6月30日

所属団体名等	氏名	備考
鶴岡市町内会連合会会長	山田 登	
鶴岡市自治振興会連絡協議会会長	本間 仁一	
鶴岡市農業協同組合代表理事組合長	今野 毅	
出羽庄内森林組合理事	五十嵐 吉右衛門	
山形県漁業協同組合常務理事	田村 勇次	
鶴岡商工会議所会頭	早坂 剛	
鶴岡市観光連盟会長	三浦 惇	
鶴岡市社会福祉協議会理事	茅野 進	
鶴岡市民生児童委員協議会連合会会長	竹内 峰子	
鶴岡市PTA連合会副会長	若木 敬一	欠席
NPO法人鶴岡市体育協会会長	稲泉 眞彦	
鶴岡市老人クラブ連合会会長	後藤 輝夫	欠席
鶴岡市婦人会連合会会長	齋藤 春子	
鶴岡青年会議所副理事長	佐藤 東一	欠席
鶴岡市消防団団長	伊藤 俊昭	
学識経験者	竹田 理英	
学識経験者	丸山 絢子	欠席
学識経験者	菅 隆	欠席
学識経験者	奥山 春名	
学識経験者	菅原 衛	

鶴岡地域審議会 分科会名簿

コミュニティ分科会

◎分科会長

No.	所属団体名等	氏名
1	鶴岡市町内会連合会会長	◎山田 登
2	鶴岡市自治振興会連絡協議会会長	本間 仁一
3	鶴岡市社会福祉協議会理事	茅野 進
4	鶴岡市民生児童委員協議会連合会会長	竹内 峰子
5	鶴岡市PTA連合会副会長	若木 敬一
6	NPO法人鶴岡市体育協会会長	稲泉 眞彦
7	鶴岡市老人クラブ連合会会長	後藤 輝夫
8	鶴岡市婦人会連合会会長	齋藤 春子
9	鶴岡市消防団団長	伊藤 俊昭
10	学識経験者	竹田 理英
11	学識経験者	菅原 衛

事務局:コミュニティ分科会担当

地域振興課長補佐	武田 壮一
地域振興課地域振興専門員	三浦 裕美

産業経済分科会

◎分科会長

No.	所属団体名等	氏名
1	鶴岡市農業協同組合代表理事組合長	◎今野 毅
2	出羽庄内森林組合理事	五十嵐 吉右衛門
3	山形県漁業協同組合常務理事	田村 勇次
4	鶴岡商工会議所会頭	早坂 剛
5	鶴岡市観光連盟会長	三浦 惇
6	鶴岡青年会議所副理事長	佐藤 東一
7	学識経験者	丸山 絢子
8	学識経験者	菅 隆
9	学識経験者	奥山 春名

事務局:産業経済分科会担当

企画部次長(兼)地域振興課長	三浦 総一郎
地域振興課主任	前田 哲佳

鶴岡地域審議会分科会協議テーマの設定について

平成24年8月6日に開催しました、平成24年度第2回鶴岡地域審議会において、地域活性化や地域振興への具体的な取り組みに向けて、協議したい又は取り上げたいテーマについてご意見を頂きました。各分科会に関わる内容は下記のとおりです。

【地域コミュニティに関すること】

- ・地域活動が日々充実し地域の人が仲良くなっていると、いざという時に対応できて、防災に強い地域になっている
- ・具体的な活動の充実を図っていく施策を積極的にしていくことが、地域経済を活性化し防災に強いまちづくりにもなる
- ・会長の選出が困難でなり手がいないことで、自治組織の維持が危ぶまれている地域があると聞いている
- ・自治組織の代表者が地域の課題解決をすることで、自信とやりがいを持てるような形、力が発揮できるように行政側も配慮してもらえればありがたい。
- ・地域の老・壮・青年の活動をどう活発化させるかということで、生きがい対策としての生涯教育の推進に取り組んでみる
- ・生涯学習や生涯スポーツを一人一つという取り組みで活性化を図ってはどうか。
- ・脆弱しているコミュニティをどう活性化するのか
- ・人材育成、コーディネーターの人材育成が大事
- ・各組織、町内会、コミセン、社協、体協、その他の機能分担とよく言うが、共有する部分は何かということ研修し、上層部のリーダーが共有を図ることが大切
- ・地域のネットワークは、行政や団体、社協や学区等で連携を図りながら育てることで地域の活性化につながる
- ・学校や家庭だけでなく、地域や地域の大人が関わることで、子どもは育つのではないかと感じている
- ・お年寄りの知恵、長年培ってきた伝統芸能、地域のお祭りなどの伝承文化を、今の子どもたちに伝えて残す
- ・地域の大人と高齢者との関わりあいで育む地域の子ども
- ・将来の鶴岡を支える子どもたちのため、いじめや犯罪等がなくなるように、また、パソコン・携帯電話等での犯罪も多くなっているため、ゼロになるように
- ・近所のおじいさんおばあさんから、いろいろ教えられ学んできた。最近はこのように、近所でも話す機会がなくなってきたので、近所づきあいという形が取り入れていけるとよい
- ・保全のため伝統的に進めてきた活動や仕組みに参加できない高齢者が多くなっているため、環境の保全活動を支援する仕組みの検討

- ・コミュニティが防災力、福祉の問題、少子化、高齢化の問題を含めた形でどうあればよいのか。
- ・子育てについて
- ・高齢者を含む一人一人の心がつながる確かなコミュニティづくり
- ・一つの目的を持って地域防災に携わっている消防団活動は、OB、家族、集落の人も一緒になって地域を盛り上げている
- ・ボランティアを活用した子育て支援のグループ育成、ネットワークづくり
- ・合併に伴う今後のあり方
- ・特色ある学校づくり
- ・地域、子ども、就職を含めた職は一つにつながっていると思うので、子どもの教育だけでなく、地域に人を集めるにはどうしたらよいか。
- ・子どもの教育に対する地域のあり方

【産業経済に関すること】

- ・観光資源、地域資源、伝統文化、自然を含めた様々な資源を活かした交流人口の拡大の仕方、地域経済の活性化にどう結びつけるかについて、更に深める
- ・様々な資源にどのような付加価値をつけ高めるか
- ・再生可能エネルギーの今の進捗状況を含めた問題
- ・市の農業、林業などの指導強体制の強化
- ・食料を支える産業の一つとして、山形県には庄内浜という海があることを、全国へ発信
- ・城下町という鶴岡の良さについて、今の大人が子どもに教えられるように
- ・人口減少に伴う若者のUターン推進について（若者にまた鶴岡に住んでもらうためには）
- ・地域の魅力を再確認し、地域を誇りの思える意識への変革
- ・鶴岡の観光、人物、自然をピックアップ
- ・食文化、観光など、いろいろなものがある中で、世代によっても捉え方が違うので、一つに絞ってみる
- ・食文化創造都市推進と食の都庄内との連携
- ・行政、民間企業、市民との連携や、一緒に事業を組み立てる視点を取り入れる
- ・産業分野での新たな雇用創出
- ・再生可能エネルギーの普及については、産業や防災・災害時への対応を含めたエネルギーの問題
- ・資源や農産業などすばらしいものがこの鶴岡にはある

鶴岡市の人口の推移

1. 男女別人口と世帯数

鶴岡市	計	男	女	世帯数
平成17年9月30日現在	143,990	68,995	74,995	46,851
平成18年3月31日現在	143,288	68,530	74,758	46,833
平成19年3月31日現在	142,338	68,017	74,321	47,093
平成20年3月31日現在	140,896	67,259	73,637	47,066
平成21年3月31日現在	139,619	66,573	73,046	47,166
平成22年3月31日現在	138,499	66,032	72,467	47,341
平成23年3月31日現在	137,453	65,507	71,946	47,491
平成24年3月31日現在	136,146	64,892	71,254	47,724

※住民基本台帳人口、世帯数

2. 市内6地域(平成17年10月1日合併前の旧6市町村)別の人口

	総数 (鶴岡市)	鶴岡地域	藤島地域	羽黒地域	櫛引地域	朝日地域	温海地域
平成2年	150,840	99,889	13,011	10,298	8,722	6,570	12,350
平成7年	149,509	100,538	12,414	9,988	8,742	6,309	11,518
平成12年	147,546	100,628	12,294	9,616	8,536	5,864	10,608
平成17年	142,384	98,127	11,595	9,323	8,320	5,378	9,641
平成22年	136,623	95,209	11,065	9,059	7,794	4,798	8,698

※国勢調査